

## 令和5年度学校経営計画

学校番号	6	学校名	静岡県立浜松聴覚特別支援学校	校長名	藤田 延江
------	---	-----	----------------	-----	-------

### 1 目指す学校像

(1) 教育目標 『 たくましく 心豊かに 』

～言語力を向上させ、自分のよさや可能性を最大限に伸ばし、「共生・共育」社会を実現する担い手として自ら考え、判断し、実践できる人を育てる～

(2) 目標具現化の柱(中期目標)

【 一人一人が「いきいき」「わくわく」生活し、「しなやか」な心を育む 学校 】

<いきいき> 自分も相手も大切にし、安全で安心な生活のできる学校

<わくわく> 人とのかかわりあい、毎日の授業や生活が充実し、新しい学びのある学校

<しなやか> 関係機関と連携を図りながら、子どもたちの夢の実現をサポートする学校

### 2 本年度の取組 (重点目標はゴシック体)

	取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標	担当部署
いきいき	互いを認め合う人権感覚を高め、豊かな心を育む指導の充実	・相手の意見を尊重しつつ自分の意見が言える、自他を大切に教育活動の充実	・児童生徒は、相手の意見を聞けたり自分の意見を言えたりできている。	生徒指導課 各学部
		・互いの考え方の違いを認め合う教員集団づくり	・異なる考えでも受け止め、相手を尊重した言動ができている。	全教職員
	安全・安心な生活のための環境・体制づくり	・自分の身は自分で守るための、防災教育、安全教育等の体験的活動実施	・児童生徒は、自分の健康や命を守る方法を理解し行動できている。	保健体育課 生徒指導課
		・教員一人一人の危機管理意識を高め、タイムマネジメントできる教員集団づくり	・緊急時の初動体制を理解し、迷わず対応ができる。	生徒指導課 保健体育課
		・学校経営予算の適正な予算配分と計画的な執行	・計画的、効率的に業務が遂行できている。	企画会
・学校経営予算の計画的な執行により、修繕や購入が効率的に行えている。	事務部			
わくわく	一人一人の言語力の獲得と、協働的な学びの授業や生活づくり	・学習会やOJT等による聴覚障害教育の専門性の向上	・聴覚障害教育の専門性が高まり、その専門性を発揮して指導ができている。	自立活動課 各学部
		・教員は授業をマネジメントし、基礎学力の定着と主体的、対話的で深い学びの授業づくり	・児童生徒がわくわくする姿と、新しい学びのある授業ができている。 ・幼児児童生徒が主体的に対話し、学びが深まる授業ができている。	研修課 各学部
		・生活の自立に向けて、子どもたちが主体的に対話しながら活動する寄宿舎づくり	・舎生が、「わくわく」した寄宿舎生活を送ることができている。 ・舎生が主体的に対話し、主体的に活動できている。	寮務部
		・読書活動による言語力向上の基礎づくり	・読書活動をとおして、生活言語の拡充とコミュニケーション能力の向上ができている。	教務課
		・ICT活用の推進と一人一台端末を効果的に活用した授業づくり	・児童生徒は、一人一台端末を活用することができている。 ・ICT機器を有効に活用した授業が行えている。	研修課 情報教育課

し な や か	共生・共育と 地域における センター的役 割の充実	・交流籍交流、学校間交流、 地域のモノ・コト・ヒトを生 かした交流の充実	・生活経験が広がり、幼児児童生徒の 成長を感じることができている。	各学部
		・乳幼児教室、通級指導教室、 相談室の切れ目ない支援の 充実と積極的な情報発信、ニ ーズに応じた支援の実施	・在籍校や医療機関等との連携を図れ、 ニーズに応じた支援ができている。 ・研修や支援をとおして啓発ができ ている。	支援部
	社会自立に向 けた関係機関 との連携強化	・個別の教育支援計画や指導 計画を活用した指導の充実	・個別の教育支援計画や指導計画につ いて、保護者と教員、教員間で共有し、 活用することができている。	教務課
		・家庭や関係機関との連携の 充実	・家庭や関係機関と連携し、社会自立 に向けたキャリア教育や必要に応じた ケース会議ができている。	各学部
		・自他の良いところ、得意な ところを見つけ、自分らしさ を知る指導・支援の充実	・自分や友達の良いところ得意なと ころを言え、自分らしさに気付ける指導 や支援ができている。	小中学部
		・創立百周年を記念した活動 をとおして、感謝の心と夢を 見つける指導の実践	・児童生徒が、感謝の気持ちと夢を語 ることのできる学習活動を実施できて いる。	百周年実行 委員会